

商船三井 自動車運搬船「EMERALD ACE」の見学会を実施
2019年「海の日」行事～海と日本プロジェクト in 晴海～

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や海事施設の見学会等を「船ってサイコ～」と題して実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力を入れております。

7月15日（月・祝）「海の日」に東京・晴海ふ頭にて開催されたイベント「海と日本プロジェクト in 晴海」では、商船三井の協力のもと、自動車運搬船「EMERALD ACE」（最大積載数 6400 台）の見学会を開催し、抽選にて当選した 600 名以上の方が参加しました。



当日は、船内見学をより理解いただくため、乗船前に参加者へ本船の概要や船員の役割等に関する説明を行った後、全長約 200m・高さ約 45mの巨大な船に乗りこみ、船内では、操舵室にて同社船長・航海士からの航海機器や海図等の説明、船長や船員の居室の公開、ラウンジルームにて機関士からエンジンについての説明を行うなど、船での仕事や船員の生活の様子を知っていただきました。

貨物スペースでは、自動車を前後 30cm、左右 10cm に正確に積み付ける実演を行うとともに、大型車や重機を運ぶために船内天井の高さを調節するデッキリフトカーも展示しました。

見学会を通じて参加者より、「どのくらいの速度で航行するのか」・「一度航海に出ると何日くらい日本にもどってこないのか」などの船舶や船員への質問が多く寄せられるなど、普段触れることのない海運・船員の世界に強い関心が示されました。



また、当協会は日本海事広報協会と共催で、晴海客船ターミナル内にて東京港のシミュレータを用いた操船体験や、船の絵のオリジナル缶バッジ・船に関する新聞作り等を行うブースを出展し、多くの親子連れの家族が参加しました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

